

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年2月15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」新河岸校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーティション等で児童に合わせたブース内の環境設定を整える。	相談室等プライバシーへの配慮を行う必要がある。
	②	職員の配置数は適切である		○	最低人員は確保しており、他校舎からもヘルプが来ている。	職員数の確保を行い、安全面を強化したい。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	入口用の臨時スロープを製作し、児童が安全に入室できるようにしている。	・パーティションやホワイトボードで仕切っているが、分かりやすいとは言い難いため改善したい。 ・玄関口の段差が事故の原因となり得るため改善したい。また、職員数が不足しているため適切な状況とは言えず改善したい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている		○	毎日清掃し、共有スペースは、支援終了毎に消毒している。	支援スペースは心地良い環境にと努力しているが、トイレの暗さや壁紙などは清潔感に欠ける。建物の老朽化による影響が大きい。改善したい。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		職員間で情報を共有し振り返っている。	より高い頻度で話し合をしたい。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年一度保護者の方へ評価をお願いしている。	昨年より更に信頼を得られるように今後も業務改善に努める。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		結果をまとめ、事業所ホームページへ掲載している。	公開していることを、事業所内で広報し、広く皆様に見て頂けるようにする。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在外部評価は行っていない。	今後必要な場合は外部評価を行う。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		テーマ研修や事例検討会が実施されている。	研修の実施方法や内容の改善を図りたい。
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		職員間で話し合い、保護者とのモニタリングを経て作成している。	支援計画に遅れが発生しないよう徹底したい。

支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		統一したツールを使用している。	職員全員で確認するようにしていく。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		適切な対応を心がけている。	適切な支援計画立案のためには、日頃の情報共有が肝心であるため、今後も意識していく。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		日々計画目標とお子様の様子に合わせて支援を行っている。	支援計画更新時には、お子様の様子、保護者のご意見を共有しており、今後も継続する。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・指導員間で日々話し合い、お子様に必要なことを目標に立案している。 ・立案は個人単位で行っているが、振り返りや共有はチーム単位で行っている。	情報の共有は行っているが、プログラムの立案は担当指導員が毎回個人でしている。その共有は毎回行っており、今後も継続していく。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		担当を1人に決めずに様々な職員が関わり固定化しないように工夫している。	支援記録を必ず確認し、少しずつステップアップできるようプログラムに工夫を凝らす。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる	○	○	基本個別支援のため、季節ごとの集団活動以外は実施していない。	季節の集団活動においては、普段保護者からお伺いしているめあてを設定し実施する。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		直接の連絡の他、クラウドサービスを使い、確認している。	必要に応じて適宜行っているが毎回ではないため、改善したい。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○	○	直接の連絡の他、クラウドサービスを使い、確認している。	必要に応じて適宜行っているが毎回ではないため、改善したい。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		お子様の様子や支援内容を具体的に記録し共有している。	支援記録を元に、次の担当指導員と相談しながら検証と改善を徹底する。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		最低半年に1回モニタリングを行い、計画の見直しをしている。	今後も必要に応じてモニタリングを実施し、判断していく。	
	関係機関や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	○		教室の状況によってできる限りふさわしい者が参加できるよう努めている。	誰が参加する場合にも、事前に全職員での話し合いを徹底したい。
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		相談支援事象所との共有は行っている。	こちらからも積極的に連携を取って行きたい。

保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	(重症心身障害のある子どもは対象外)	必要に応じて準備及び対応をしていく。	
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	(重症心身障害のある子どもは対象外)	必要に応じて準備及び対応をしていく。	
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		必要に応じて行っている。保育園等の情報については、保護者からの情報が主となっている。	現在は保護者からのご要望に応じて図っているが、こちらが必要と感じた方についても保護者ご了承の上で積極的に行いたい。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		保護者からの要望があった際に行っている。	現在は保護者からのご要望に応じて図っているが、こちらが必要と感じた方についても保護者ご了承の上で積極的に行いたい。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		担当者会議を実施することがある。	連携しているのは現在放デイの他事業所のみ。こちらから働きかけて児発についても関係を作っていく。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		現在そのような機会は設けていない。	個別対応のため交流とまではいかず、パンフレットの案内のみ。
保護者	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		現在そのような機会は設けていない。	機会があれば参加していく。地域との繋がりをもちたいと考えている。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○		フィードバックや支援中に話を聞く機会を作っている。	なかなかゆっくりお話しできない保護者もいらっしゃるため、徹底していきたい。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		・指導員で情報共有し、保護者への声かけをして交流・支援を行っている。 ・保護者からの相談支援は随時受け付けて行っているが、ペアレント・トレーニング等は行っていない。	保護者が集まる機会というものを設けるべきか検討中。地域性にも寄るため、慎重に考えている。
保護者	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○		契約時や変更があった時など適宜行っている。	分かりやすく、お伝え忘れ等のないように細心の注意を払っている部分。継続していく。

への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		どのような助言や支援ができるか話し合い、支援を行っている。	モニタリング記録書もお見せし、支援内容の説明をしてから同意のご署名をいただいている。丁寧な対応を継続していきたい。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的なモニタリングでお話を伺い、どのような助言や支援ができるか話し合い、支援を行っている。	フィードバックの時間にも、必ずお声かけをし、保護者との関係作りをより強化したい。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在このような機会を設けて行きたい。	保護者が集まる機会というもの設けるべきか検討中。地域性にも寄るため、慎重に考えている。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			相談については迅速に対応している。	すぐに職員間で共有し、適切な対応を取れるよう相談している。今後も徹底したい。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			LINE 等を通して行事予定等の情報を発信している。	SNS や LINE での発信は継続して行っていく。また、連絡体制についても今後どう発信していくか検討し改善したい。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○			鍵付きのロッカーに保管している。	開け閉めについても気をつけているが、気を引き締めて継続していく。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			可能な限り個々に対応を行っている。	LINE によるフィードバックなども行っている。今後も継続していきたい。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		事業所の存在が地域に根付くようには思っており、招待すると言った交流は行っていない。	保護者のご希望を伺い、ご希望が高ければ実施していきたい。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			各マニュアルを策定し、職員や保護者が見える所に貼り周知している。	周知はしているが認知に至っていないことが分かったため方法を見直し、改善したい。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			月に一度避難訓練を実施している。	お子様にも参加していただく機会を増やしていきたい。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			保護者からお話があった際に確認を行い、共有を行っている。	お子様の状況について、確認不足を感じることもあるため改善したい。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食品の提供はない。	イベントなどでも食品の利用は一切ない。今後も継続していく。

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		共有し、再発防止の話し合いをしている。	起きるたびに教室環境を改善するようにもしている。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年に一度必ず虐待防止研修を行っている。	お互いの支援を見直しながら、決してこのようなことがないように意識している。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		現在必要な利用者はいない。	身体拘束についても研修を受け、対応を決定している。支援計画への明確な記載も継続して行っていく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年2月15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新河岸校

保護者等数（児童数）：13 回収数：13 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	5				活動によっては狭いと感じられるかもしれません。お子様が活動しやすい工夫をしていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	2	1		会話の内容が大人レベルであったり声のトーンが強い時があった。	職員間で情報共有し、お子様に合った話し方を心掛けていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	6			スペースの構造化、視覚支援で見通しを持たせる、支援の終了事前予告（5分前など）がない。	多機能型という性格からお子様のスムーズな入れ替えに難しい場面もありますが、パーテーションの組み方などで構造化を検討します。また、視覚や声かけによる見通しを立てるサポートは今後支援に入れていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	1				古かったり落書きがあったりするパーツもありますので、改善していきます。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11	2				ニーズの分析を職員で行い、適切な計画が作成できるよう改善します。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	2		1		ガイドラインに照らし、適切かつ具体的であるよう、内容の確認を徹底していきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12	1				毎回の立案で計画を確認し、内容の検証をしていきます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	3				スモールステップで内容を上げて行けるよう職員で情報共有を徹底します。

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	5	2		現在は行っていませんが、ご希望があるかをまず伺いあれば実施に動きます。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13					分かりやすく説明不足のないよう今後も行っていきます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	13					今後も、モニタリング記録書と合わせて必ずお時間をいただき確認をしていただきます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4	6	1	2		現在相談支援のみになっています。今後ご希望があるかをお伺いしあれば実施に動いていきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	1				保護者の方によってはお話しするお時間が少ない場合もあります。どの保護者とも平等にお話しできるような時間を設けます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	3		1		保護者の方発信でしている状況です。こちらから積極的にお声がけしてまいります。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	4	4	3		保護者同士の連携のご希望があるか、まずは伺い、あれば動いて行きます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	2		1		体制整備ができていないことが課題です。早急に整えていきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	2		1		LINE によってフィードバックを行うなどは対応していますが、配慮不足がないか職員で検証します。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	3		1		定期的ではなく、必要があれば、に留まっています。また連絡体制などの広報が不足しているため強化してまいります。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	10	1		2		十分であることを心がけ、ご心配をおかけすることのないよう徹底します。

非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	4		2	マニュアルはあるが周知不足があり、また、お子様も一緒に訓練は実施していない。来年度は実施していきたいです。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	5	2	4	職員では行っていますが、お子様も一緒に訓練はしていません。来年度は実施するよう計画を立てます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	13				毎回楽しかったと本人が言っている。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	11	2			保護者の方にもご満足いただけるように支援をしていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。